

牛久自然観察の森へ行ってきました。～その 6. その他の昆虫、動物

1. コアオハナムグリ



2. カブトムシ(幼虫)



成虫の姿からは想像もできないかもしれませんがね。このように姿も習性も全く変わってしまうのを「完全変態」とよびます。

花蜜や花粉を食べるコガネムシの仲間



3. ヤマトシリアゲ

初夏のものは体が黒っぽくて大きめだが、夏の終わり頃に現れるものは黄色っぽくて小さめなため、以前は別種と考えられていたそうです。林の縁の葉上でよく見られ、昆虫の死体から体液などを吸って生きるといいます。オスはメスにえさを与え、それをメスが食べている間に交尾をするそうです。

4. ノシメトンボ



はねの先の黒い赤とんぼのなかで最も大きいトンボで、夏には森や林のなかで暮らすが秋にはまた水辺に戻ってきて産卵するそうです。

5. フトスジミミズ



森林表層の落ち葉を食べて、その分解に役立っています。

6. ヨコヅナサシガメ(幼虫)



7. クヌギハケタマフシ



タマバチがクヌギの葉に産卵してできる虫こぶで、それぞれの中にタマバチの幼虫が一頭ずつ入っています。

第 3 号でも紹介した、カメムシの仲間です。最近本当にあちこちで見かけるようになりました。